

第3回新居浜市レジ袋削減推進協議会議事録

- 1 開催日時 平成21年1月30日(金) 14時から16時
- 2 開催場所 新居浜市役所 5階大会議室
- 3 出席者
(市) 加藤部長(環境部)、本田課長(ごみ減量課)、亀井係長(ごみ減量課)、
長谷川(ごみ減量課)、岡課長(環境保全課)、守長係長(環境保全課)
(スーパー) (株)木村チェーン(橋田)、コープえひめ(白川)、(株)マルナカ(横井)
イオンリテール(株)(堀切、前川)、(株)フジ(宮岡、吉岡)、
マックスバリュ西日本(株)(渡辺、宇高、吉田)、(株)ママイ(高尾、一色)
(ドラッグストア) (株)レディ薬局(三橋、木口)、メディコ21(三好、矢野)
(ホームセンター) ダイキ(株)(松本)
(関係団体) 新居浜商工会議所(小泉)
(消費者団体等) にいはま環境市民会議(眞鍋、石塚)、にいはま消費者友の会(稲見)、
新居浜市女性連合協議会(秦)、グループさつき生活学校(原)
- 4 欠席者
(スーパー) (株)マルヨシセンター
(ドラッグストア) (株)大屋マック本部

5 意見報告

(事務局)

定刻が参りましたので、ただ今から、第3回新居浜市レジ袋削減推進協議会を開催いたします。本日の出席状況ですが、マルヨシセンターさんとマックさんは欠席との連絡を受けております。それでは、これから議事に移りますが、議事の進行は、規約に基づき加藤会長にお願いします。

(会長)

それでは、会次第に沿って議事を進めたいと思います。

前回、レジ袋削減に関する協定書の案を事務局で作成し、皆さんに送らせてもらい、各事業所としての意見をまとめていただき、次の会で再度話をすることにしていたと思います。初めにお送りした資料の内容を事務局に説明していただき、その後各事業者の意見をいただきたいと思います。

(事務局説明)

(会長)

それでは、質問も含めて事業者の皆さんのご意見をいただきたいと思います。

(木村チェーン)

市の協定案で問題はありません。これからどのように消費者の方に、理解をしていただくかが、主題になると思います。

(コープえひめ)

これまでのやり方では持参率も頭打ちになっていることや、環境問題のことも考えると躊躇している時間はないと考えます。しかし、事業を行っている部署から、コープだけが無料配布中止することには不安の声もありますので、せめて市内のスーパー業態が一緒になって取り組まないと、正直組織内の理解が得られにくいと思います。ただせっかくマイバグフォーラムを開催し、ここまで市民の皆様も一緒になって進めてきたことですので、なんとか協定にこぎつけたいと考えています。できるだけ、地域のスーパーが歩調を合わせて実施するのが、望ましいと思います。協定書については、これで問題はないと思います。行政の絶大なる支援を期待します。

(イオンリテール)

イオングループでは、今年4月には444店舗で無料配布中止を実施することになり、世の中は無料配布中止の流れになっております。当社としても協定に準じた形で参加させていただきます。また、本来なら市全体で何%削減するのか目標を掲げて、それに準じる形で事業者が参加して目標値を決めるのがいいのではないかと思います。

他市町村でも全ての事業者が参加しなくても、主流を占める事業者が無料配布中止をすれば、市民の意識も高まり、無料配布中止を実施していないお店でも、持参率が上がる結果も出ております。協定の内容について、当社としては食品集中レジにて実施し、そのほかの売り場では無料配布を継続しますが、これまでの実績では、食品レジにて実施すれば意識が高まって、他の売り場でも辞退される方が増えております。

また当社では計算方法の違いで、レジ袋辞退率という表現を使っていますので、その修正が必要となります。

(マックスバリュ)

無料配布中止を実施することに、変わりはありません。先般山口県で協定を締結しましたが、県庁にかなり動いていただいたおかげで、参加事業者が当初20程度だったのが、締結式までに41事業者までに増え、ほとんどのスーパーは参加することになりました。スタートしてから十分な成果を上げるためにも、我々事業者と、市、消費者団体が事前の努力を惜しまないようにしていかななくてはならないと思います。

(マルナカ)

当社は高松市でも協定は結んでおらず、また高知市の協議会のほうでも方針は決まっておられません。当社としては無料配布を中止することに問題はありませんが、協定を結ぶこと

に抵抗はあります。当初の協議会でも申しあげましたが、市が無料配布中止を条例化していただいたら、参加は可能と思います。

(ママイ)

当社としては、レジ袋無料配布中止という方向でほとんど決まっております。すべてのスーパーが一つになってできればいいですが、それぞれの企業の考え方もありますので、できるところから実施していけばいいのではないかと考えます。

(フジ)

当社も山口県で協定を結びましたが、雪崩を打ったかのように後からたくさんの事業者が参加されました。そういう流れを、市、市民団体さんがいかに作っていきけるかだと思います。当社としてはできるだけ皆さんと協力して、やっていきたいと考えています。最終的な決定は、持ち帰ってからになります。方針としては無料配布中止で進めていきたいと思っています。

(メディコ21)

当社は、レジ袋削減にまだ進んで取り組んでいる状況ではありませんので、いきなり無料配布中止をするよりも、それ以前の削減に向けた取組を進めていきたいと思っています。やはり同業種の方に参加をしていただきたいのと、特定の業種に対してではなく、市全体としてレジ袋の削減していくという方針を出していただく方が、取組もしやすいのではないかと思います。また、報告書も見ましたが、これを提出するとなると、仕事も増えますので、考えたいというのが正直なところです。レジ袋削減というのは世の流れですから、積極的に取り組んでいきたいと思いますが、まずマイバッグ持参やポイント制など他のスーパーさんがやられていることから、取り組んでいきたいと思っています。

(レディ薬局)

基本的な考えはメディコさんと同じです。いきなり無料配布中止というのは、お客様に理解してもらうのは難しいと思います。実施の許可はまだおりておりませんが、無料配布中止以外で、現在ポイント制を検討しております。最終的に無料配布中止でいいと思いますが、できれば段階的に取り組んでいきたいと思っています。また松山市のような市全体のキャンペーンを、検討していただきたいと思っています。

(ダイキ)

ホームセンターは来店頻度、購入商品が一定ではなく、マイバッグを持参しての来店は、コンビニ同様難しいと考えます。これまで行っている基本的な取組の継続、お客様への啓蒙活動により、レジ袋削減に取り組んでいきたいと思っています。今後の動向を踏まえながら、継続して検討はしていきたいと考えております。

(会長)

ありがとうございます。本日欠席しているマルヨシセンターさんからは、無料配布中止は困難であるが、それ以外の協定であれば締結可能との連絡をいただいております。それでは、各事業者さんからの意見が出ましたが、次に消費者団体及び商工会議所の皆さま

んのご意見をいただきたいと思います。

(商工会議所)

商工会議所としても、環境保全活動に参加させていただきたいと思いますので、会報への掲載等協力していききたいと思います。

(環境市民会議 眞鍋)

レジ袋削減は世の流れで、また行政もやる気になっていますから、ぜひ実施していただきたいと思います。

(環境市民会議 石塚)

この前のマイバッグフォーラムでも、市民の皆さんからの賛成意見がたくさんありました。みんなで一緒に実施していききたいと思います。

(新居浜市女性連合協議会)

皆さんと一緒に、できることから一步一步していくのがいいと思います。私たち消費者がいかにか意識を持って、取り組んでいけるかだと思います。

(にいほま消費者友の会)

誰かが踏み出さないと、どうにもなりません。事業者の方も、お隣がしないから自分もしないというのではなくて、自分がやれば他の人たちもついてくるであろうという意識で、すすめていただきたいと思います。

(グループさつき生活学校)

1社でも多くの事業者に、無料配布中止を実施していただきたいと思います。

(会長)

これまでもたくさん協議してまいりましたので、具体的なことを一つ一つ決めていききたいと思います。市としてはすべてのスーパーさんが、無料配布中止を実施できることが望ましいと考えますが、今の事業者さんの意見を聞いて何かございませんか。

(コープえひめ)

マルナカさんは無料配布中止は問題ないけれども、協定を締結するのが難しいというのでしょうか。

(マルナカ) レジ袋の削減に反対するわけではなくて レジ袋削減への取組は当社でも行っておりまして、社内で従業員が休憩中に買い物をする際には、袋は貰わずに社員用の買い物カゴを用意したり、マイバッグ持参の呼びかけを行っております。ただ無料配布中止については、ごみ袋の有料化と一緒に進めるのであれば無料配布中止も可能だとはおもいますが、現状でレジ袋だけというのは社内での方針も出ていないので、難しいです。

(マックスバリュ)

今マルナカさんの持参率はどれくらいですか？

(マルナカ)

データを取っておりませんので、正確な数字はだしておりません。他社さんのようなポイントカードや自社カードがあれば算出できると思いますが、当社はレジでカウントできま

せんので、現在のところ数字は持ってありません。

(フジ)

無料配布中止を実施する際にどれだけ支援をいただけるかが重要です。無料配布中止とそれ以外の取組も、同じように周知されると困ります。

山口県のように、ポイント制の実施だけで40%以上の持参率のところでは無料配布中止を実施するのと、持参率が20%にも満たない、愛媛県でも最下位という状況で実施するのでは、取り組む協力体制がより強力でないと、なかなか難しいというのがあります。

(マックスバリュ)

山口県では、無料配布中止をしない事業者は、最初から協議会に入っておりません。無料配布中止を決断したら、協議会に参加するというように、極めて明確です。他市では、無料配布中止とそれ以外の取組とも協定を締結しようとしたところがありましたが、無料配布中止とそれ以外の取組とで、のぼりやポスターをみても、違いがはっきりと分からないような協力をすると言われたので、いかがなものかと思いました。結局、無料配布中止を決断したところと協力しようということに落ち着きました。そういう部分をフジさんは懸念されていると思います。

(会長)

事業者さんの意見をお聞きして、無料配布中止以外での取組に支援していくのが適切かどうかを、皆さんに確認させていただきたいと思いました。

(マックスバリュ)

マルナカ、マルヨシさんを除いて、市内の約8割の店舗で実施できるのであれば、大丈夫だと思います。当社としては、これだけの店舗数があれば実施します。

市として無料配布中止以外で協定を締結するのは、構いませんが、広報の際には明確に分けていただきたい。同じような広報の仕方では困ります。

(会長)

市としても、スーパーについて無料配布中止での協定を想定していましたが、事業者の方が同意するのであれば、無料配布中止以外の取組のところとも協定を結ぶことができますよということです。

(フジ)

高松市は、無料配布中止とそれ以外どちらでも選択できる形でしたが、無料配布中止を選択したところはありませんでした。結局、今やっつてることをそのままするだけで、協定を結ぶ意味があまりなく、参加しないところもありました。

(マックスバリュ)

西宮市でも、無料配布中止とポイント制を選択できるようにしたところ、すべての事業者が無料配布中止以外を選択することになり、他社は協定を締結しましたが当社は参加しませんでした。半年後の結果を見れば、絶対に進んでいないと思います。やはり無料配布中止の決断をした段階で、協定に参加すべきであると思います。

(木村チェーン)

すべての権限を持ってきているわけではありませんので、確定的なことは申し上げられませんが、社会的な状況を考えれば、一步踏み出すべきではないかと思います。現場の声を聞きましても、心配する声はありますが、最終的には市、消費者団体がどれくらい後押しをしてくれるのかだと思います。ただ市内の8割の店舗が参加するのであれば、一步踏み出す方向で考えるべきだと思います。無料配布中止の協定のみ、締結すべきだと思います。

(コープえひめ)

コープも同じで、無料配布中止の協定のみというように、はっきりすべきであると思います。

(イオン)

多いに越したことはありませんが、前例から言っても、8割の店舗が参加すれば大丈夫だと思います。

(マルナカ)

現時点では協定締結はできませんが、今後会社の方針が変わってくれば、その限りではありません。

(ママイ)

イオンさんと同じ考えです。

(フジ)

無料配布中止以外の取組であれば、ある程度企業の努力で少しずつやっていける部分もありますが、無料配布中止については市の全面的なバックアップはもちろんですが、特に市民団体さんの後押しが必要です。また自分の市民団体の中だけでなく、どれだけその周りの人たちを巻き込んでいけるかが、ものすごく大事になります。

(会長)

それではスーパーについては、無料配布中止の協定のみとさせていただきたいと思います。マルナカ、マルヨシさんは、今後無料配布中止に同意できれば協定に参加をお願いしたいと思います。また、ドラッグストアさんについては、無料配布中止は難しいとのことですが、それ以外の取組を推進していくという協定はいかかでしょうか。

(メディコ21)

この場でお答えすることはできませんが、持ち帰って検討したうえでお返事できるかと思っています。

(レディ薬局)

スーパーとは違って、進み始めたところですから、持ち帰って検討させてください。

(会長)

ドラッグストアさんは、足並みがそろった段階で締結をするということで、スーパーとは別に進めていきたいと思っています。またスーパーとは業種も異なりますので、締結する場合も無料配布中止以外の取組の推進ということにしたいと思っています。ホームセンターのダイ

キさんはいかかでしょうか？

(ダイキ)

無料配布中止及びそれ以外の取組で締結することは、現状ではできません。

(会長)

それでは実施時期ですが、予算の関係で啓発物をお配りできるのが5月以降になり、また市政だよりへの掲載を考えると、市としては早くても、6月以降になるのではないかと思います。

(事務局)

啓発物についてですが、のぼりについては計100本予算要求しておりますので、各店舗には必要なだけ配布できると思います。またポスターについては、店舗用に計800枚、公共施設用に100枚配布する予定です。市政だよりやCATVでの告知は費用はかかりません。あと市の記者クラブ、報道関係にも周知していきたいと思います。

(マックスバリュ)

ここまでくれば、4月か5月には実施できると思います。

新居浜市さんより後から協議会を立ち上げた市が、どんどん先にやっていますよ。

(フジ)

この状況だと、愛媛県で一番最初にできるかと思いますが、ただ7月というのは少し遅いと思います。ただ、そこまで盛り上げていく期間なんだと考えることもできますので、マスコミにも市の方から呼びかけていただいて、県内全域にアピールできれば、インパクトがあると思います。市民に受け入れてもらうための下準備を、どれだけしていけるか課題です。

(事務局)

市民の方に広く周知するのに、市政だよりへの掲載が必要ですが、原稿の締め切りにタイムラグがあります。また各事業者の事情も異なりますから、すぐに実施できる場所もあればそうでない場所もありますので、締結後最低2、3か月は必要であると考えます。

(環境市民会議 眞鍋)

市民運動をする場合には、どういうことをすればいいでしょうか。

(マックスバリュ)

市民グループさんがお持ちの機関紙への掲載や、店舗の店頭で集客のあるときにビラの配布や、声掛け運動をしてもらったりしております。そういうのは実施の直前2週間ぐらい前に、集中的に実施してもらうのが効果的です。それ以前は店内の販促物や、店内放送で周知していきます。2か月の広報期間で問題ないです。

(フジ)

興味を持っていない方にどれだけ関心を持っていただくかです。薄くてもいいからどれだけ広げていけるか。みなさんがどういう土壌を持たれて、どういう活動をされているかわかりませんので、具体的にどういうことができるか申し上げるのは難しいです。

(環境市民会議 石塚)

協定が締結されたら、タイムリーに市政だよりで告知していく必要があります。

(フジ)

こういうことを話合って、進めていこうとしているんだということも流していただければ、そういう流れになってきているんだと、市民の方も理解しやすくなると思います。

(会長)

それでは締結時期は、3月23日から27日までの間でこちらで決めさせていただきます。実施時期については、市からの啓発物の配布が5月に入ってからになりますので、それ以降で6月、7月ではどちらがいいでしょうか。

(グループ生活学校)

6月は環境月間ですから、6月がいいと思います。

(会長)

先ほども7月は少し遅いという意見もございましたので、6月1日からということで、よろしいでしょうか。

(委員同意)

(新居浜市女性連合協議会)

「これからはレジ袋を買わなくてはいけない」というような、消費者に誤解をさせることがあってはいけませんから、市民に十分理解できるように進めていっていただきたいと思います。

(木村チェーン)

マックスバリュさんの資料にもありましたが、例外的に袋を渡す商品をあらかじめ統一しておく必要があると思います。また、クレームに備えて、各店で同じ答えができるように対応マニュアルを用意しておく必要があります。

(フジ)

私達も実施するときに、マックスバリュさんやイオンさんからもらったマニュアルを参考にして作成しました。

(会長)

マックスバリュさんがこれまで作られた啓発物を、他の事業者に配布してもいいでしょうか。

(マックスバリュ)

問題ありません。後日市に送付させていただきます。

(会長)

協定締結時の出席者ですが、社長さんや副社長さんが来ているところもあるようですが。

(マックスバリュ)

今までのところ署名は、社長、代表者がしています。出席されるかどうかは色々あります。

出席されない場合は、事前に協定書を送付していただき署名後返送し、当日は代理として出席するというのが多いです。当社は可能な限り、社長が出席するようにしております。

(会長)

署名者はできるだけ社長にさせていただいて、当日出席できない場合は事前に送付させていただきます。

次に目標値ですが、できるだけ高い方がいいですが、市全体で統一することも難しいので、各社で決めていただきたいと思います。この目標値を含めて協定の文言等各社で決めて返送していただき、その内容で締結したいと思います。

(フジ)

現在ポイント制を導入されているところについては、今後どうされるのでしょうか。

(イオン)

本来スタンプカードというのは、マイバッグを持参していただくことをアピールするためのものであり、無料配布を中止すればおおむね8割の方が辞退されますから、基本的にはその役目は終わったということで、無料配布中止開始と同時にスタンプカードはやめたいと考えています。

(フジ)

無料配布中止を開始する四万十市と山口県では、ポイント制は終了する予定です。

(環境市民会議 眞鍋)

無料配布中止後も、続けることに意味はあるんですか。

(フジ)

来店ポイントや来店サービスになってしまいますので、それにお金を使うぐらいだったら違う環境活動にお金を使っていく方がいいと思います。

(コープえひめ)

マックスバリュさんやフジさんは経験者ですから、すぐにでもということになりますが、当社は初めてなので、どのように自分の組織の中に浸透させていくかもこれからなので、あまり早急にされてもというのはあります。組織の中での合意形成も難しいので、ある程度の時間は必要です。

(グループさつき生活学校)

レジ袋販売による収益金の使途についての記載は、各社どうするのでしょうか

(事務局)

協定書案では記載してはおりますが、各事業者の判断になりますので、そういう取組をできるところはしていただけたらと思います。それも含めて事業者のほうで文言を直していただきたいと思います。

(フジ)

四万十市では、関係する環境基金等がありました。新居浜市でも受け皿になるような基金はありますか。もし参考になるようなものがあれば、資料をいただきたいと思います。

(イオン)

特定の団体に寄付してしまうと偏った形になりますので、できれば新居浜市全体で寄付金を使っていたきたいと思います。京都市も当初はありませんでしたが、やっと今年基金ができました。どこに寄付したらいいのか悩みの種なので、行政にお願いしたい。

(会長)

そのあたりの案も事務局で考えて、提案させていただきたいと思います。

他に何かございませんか。

(マックスバリュ)

具体的にどのようなスケジュールで進めていくのかを決めるために、実行委員会のようなものを開催する必要があるのではないのでしょうか。

(事務局)

実行委員会の開催はいつごろがいいですか。

(マックスバリュ)

我々は、協定締結の翌日から店内で告知しますし、また初めての事業者もいますから、締結前のできるだけ早い日がいいと思います。

(会長)

それでは実行委員会については、協定を締結する事業者に参加していただくようにいたします。開催日時については2月中旬～3月上旬で調整し、後日事務局からご案内します。方針の決まっていないドラッグストアさんについては、後日事務局の方にご連絡していただき、今後スーパーさんとは別に、協定締結に向けて協議していきたいと思います。

本日はお忙しい中、ありがとうございました。